

教育目標

本校に就学する児童生徒の実態は、障害の重度・重複化および多様化の傾向が一層顕著になってきています。こうした状況に応じてより適切な教育を目指します。

- ◇ 一人ひとりの教育的ニーズを把握し、発達や障害に応じた教育を行う。
- ◇ 社会の一員として自立し、社会参加できる人間の育成に努める。
- ◇ 健康で明るく楽しい生活を送るために、調和のとれた心身の育成に努める。

努力目標

魅力ある学校づくり

地域に開かれた学校づくり

- 教育活動全体をとおして啓発活動（障害者理解・特別支援学校理解）を推進する。
- 交流活動を通して地域との結びつきを深める。
- 関係機関との連携を密にする。

個に応じた教育課程づくり

- 児童生徒の障害の状況および発達段階や特性等を正しくとらえ、持てる力を最大限に生かすように努める。
- 保護者との連携のもと個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、一人ひとりを大事にした教育課程づくりに努める。
- 各学部の特長を生かしつつ、小・中・高教育の12年間を見通した一貫性を図る。

教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

- 地域や関係機関との連携、教育実践の充実、特別な教育的ニーズのある子どもや保護者の理解により一層努める。
- 合同研修会や相談事業、理解啓発などの地域支援事業の推進に努める。